

「運輸防災マネジメント 2025年度基本方針」

京王自動車グループ
京王自動車株式会社
京王自動車バスサービス株式会社

1. 運輸防災マネジメントに関する基本的な方針

京王自動車グループ「防災の基本方針」

1. 災害等については、事業上の重要なリスクと捉え、平時から被害を軽減する「防災」と、発災後、安全を確保しつつ早期に復旧して事業を再開し、地域住民の生活と経済を支える「事業継続」との観点から取り組むものとする。
2. 災害等については、「平時の準備」「台風・豪雨・降雪等の直前の準備」「直後の初動対応」の三段階において必要となる対応を定め、当社グループ全体で共有する。
3. 防災は「事前に備え行動すること」と「迅速な初動」が重要であることから、平時より、実践的な「備え」と発災直後の「初動」によって、お客様や役職員等の安全確保と被害軽減を図り、その後の事業の早期復旧および事業継続につなげる。
4. 事業継続は、経営資源の配分、優先事業の絞り込み等の重要な経営判断を伴う取り組みであることから、経営トップが率先して行う。
5. 災害等への対応力向上のため、計画の策定、実行、チェック、改善のサイクルを確実に運用し、必要な改善に努めることでスパイラルアップを図るとともに、災害等への対応に関する情報は、積極的に公表する。

2. 自然災害対応のため講じた措置及び講じようとする措置

◆自然災害への対応に関する重点施策

1. 発災時において、お客様や役職員等の安全確保と被害軽減を図り、できる限り早期に事業復旧・再開させるため、役職員の防災意識の浸透および高揚を図る。
2. 事前の備えについては、「防災委員会」において、現業の状況を十分把握したうえで防災体制の強化に取り組む。
3. 防災委員会では、「平時の準備」「台風・豪雨・降雪等の直前の準備」「直後の初動対応」「復旧・事業継続」ごとにタイムラインを設定し、それぞれのリスク評価を実施する。また、防災体制の強化に資する予算の確保、体制強化等に必要な措置を講じるほか、教育訓練を計画的に推進しつつ、定期的に施設・車両・機材・システム等を点検・整備し、それらの備蓄を行う。
4. 情報の報告・連絡体制を確立し、発災時は、社内・お客様・取引先等との間で必要な情報を伝達し共有することで、災害等への対応に関するコミュニケーションを活性化させる。
5. 教育訓練に関する具体的な計画を策定し、実施する。過去の災害等の事例について情報収集を行い、活用する。

◆自然災害への対応に関する重点施策と実施計画

別記「防災に関する重点施策・実施計画」(PDF)

